

令和7年度使用中学校教科用図書の採択結果

行田市教育委員会

種 目 名	発行者	主な採択理由
国 語	光村図書出版	・文字のフォントや行間も適切で読みやすい。文法や言葉の学習では、生徒の日常の言語生活から題材を取り上げており、必然性をもって学べるような工夫がされている。 ・「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」では、文章における「情報の扱い方」を具体例や図解で示し、実生活に生きる情報活用能力の習得を図っている。
書 写	教育出版	・「まなびリンク」からデジタルコンテンツにリンクしており、「比較ツール」を使って自分が書いた文字と教材文字を比較して表示できる工夫がされている。 ・「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」「学習を生活に生かそう」の学習の流れがあり、見通しをもって取り組める構成になっている。
社 会 (地理・歴史・公民)	東京書籍	【地理的分野】 ・「地理を学ぶ5つのミカタ」によって、地理を学ぶ視点がわかりやすく示され、「見方・考え方」を働かせながら自らの考えをまとめられるように工夫されている。 【歴史的分野】 ・探究課題を解決するための「まとめの活動」では、「みんなでチャレンジ」等の活動を通して、節ごとに学習を振り返り、探究ステップを積み重ねることで多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。 【公民的分野】 ・見開きのまとめ「チェック&トライ」では、学習課題を振り返り、自分のことばでまとめることで表現力を養うことができるよう工夫されている。
地 図	帝国書院	・社会科3分野のほか、総合的な学習の時間等にも活用できる自然、産業、歴史等の様々な情報が地図上に掲載され、空間認識をともなった幅広い知識や教養が身に付けられる。 ・比較しながら地域の特色を捉えることができるよう同縮尺の地図を並べることで、分布や変化、関係性等を追究し、考察できるように工夫されている。

数 学	東京書籍	・数学と身の回り、数学と社会、算数と数学などのつながり、数学的活動の楽しさや数学のよさを感じられるように日常生活や社会の問題を解決したり、数学の新しい性質を見いだしたりする活動を扱っている。 ・側注に問題解決の過程「問題をつかむ→見通しをたてる→問題を解決する→ふり返る→深める」を示し、生徒が問題解決の進め方を意識しながら、主体的に取り組めるようにしている。
理 科	東京書籍	・「Before&After シート」では、学習前と学習後に同じ問いを考えて記録することで、自分の考えの変容を知ることができ、自己肯定感の向上や学びに向かう力を涵養できる。 ・アイコンを用いて「問題発見」「課題」「仮説」「構想」「観察実験」「分析解釈」「検討改善」「ふり返り」「結論」「活用」が示されている。また教科書左下にフローチャートがあり、探究の過程が確認しやすく工夫されている。
音 楽 (一般・器楽合奏)	教育芸術社	【一般】 ・「学びのコンパス」では、学びの手立てを示すことにより、見通しをもって学習に取り組むことができ、生徒同士の対話を促すことで、自己の考えを広げたり深めたりすることができる。 【器楽合奏】 ・各楽器の基本的な奏法が身に付けられるように、写真とともに学びのポイントが明記され、親しみのある曲を演奏できるように工夫されている。
美 術	開隆堂出版	・表紙を魅力的に加工することで、美術に対する興味・関心を引き付けるとともに、色彩や質感、材質が感情にもたらす効果を意識させる工夫がされている。 ・各題材に二次元コードが付いており、動画コンテンツを見ることができる。授業の導入や鑑賞活動、ワークシートなどの資料が見られることで生徒が積極的に活動に取り組みやすくなる工夫がされている。
保健体育	東京書籍	・学習課題の前にある、「見つける」では、自分の内面を見つめる活動、データを読み取る活動、生徒の思い込みに揺さぶりをかける活動、自分の経験を基に自由に考える活動など多様な活動を通して学習課題に迫っている。 ・巻末のスキルブックが明解で、健やかに生きるために重要なことがらを身に付けられる工夫がされている。日常生活での経験やこれまで学習してきたことを振り返らせる発問が多く、生徒の主体的な学びにつながっている。

技 術・家 庭 (技術・家庭分野)	開隆堂出版	【技術分野】 ・身の回りの具体的な製品から基本的な知識・技能が習得できるよう工夫され、製品のイラストや写真が多く使われている。 【家庭分野】 ・調理実習例の手順が横流れで見やすく、科学的な理解を深める「調理方法Q&A」で生活の疑問に自ら気付くことができるような工夫がされている。
外国語（英語）	光村図書出版	・Unitが扉→Part→Goalと系統的に組み立てられているため、英語をくり返して使うことで4技能5領域のコミュニケーションを図る資質や能力を段階的に育むことができるような構成になっている。 ・各学年で「聞く」「読む」「書く」「話す」ことに関する目標が明確に定められているため、3年間を通して見通しを立てながら学習に取り組めるようになっている。
特別の教科 道徳	Gakken	・教材の前に主題名を置かないことで、多様な考えを引き出し、自らの課題を発見する力を育てる工夫がある。教材への関心を高めるキーフレーズが用意されている。 ・多様性を尊重する教材では、1年生で「自分らしさ」、2年生で「多様な性を認め合う」、3年生で「自分らしさを生かして活躍する」といった内容になっており、発達の段階に応じた内容が段階的・系統的に設定されている。